



写真1
九段坂

近隣史跡の紹介

九段坂

九段坂(くだんざか)は、地下鉄九段下駅から内堀通りに沿って靖国神社の南側に上る坂です。

九段の由来については、坂の途中に九つの石段があったからとも、宝永年間(1704～1711年)の頃、江戸城の吹上庭園に勤める役人の官舎が坂の途中に9棟並んでいたからとも言われています。

急坂であり、荷車を上げることは相当困難で「立ちん坊」とよばれる人足が九段坂下で待ち受けており、荷車を押すことによって報酬を得ていたそうです。

かつて坂上からは神田、日本橋、浅草、本所、さらに房総の山々まで見渡すことができ、また江戸湾(東京湾)からは九段坂公園の高燈籠(常燈明台)が行きかう船の目印にもなったと言われています。

観月の名所として、人々が坂上で月の出を鑑賞したことも知られています。

周辺には日本武道館・靖国神社・田安門などがあり、江戸時代から現在に至るまでの数々の歴史建造物の観光もできるスポットとなっています。

参考文献

(一社)千代田区観光協会 ●URL <http://www.kanko-chiyoda.jp/>

東京都の観光公式サイト GO TOKYO ●URL <http://www.gotokyo.org/jp/index.html>



写真2
靖国神社近くの歩道橋から見た九段坂

